

[2] 普通科2年「神高探究Ⅱ」の取り組み

1 実施形態

(1) 対象と授業時間

対象：2年生普通科全クラス（8クラス）

授業時間：総合的な探究の時間「神高探究Ⅱ」（A 週金曜5限、B 週金曜4・5限）（1.5コマ2単位）

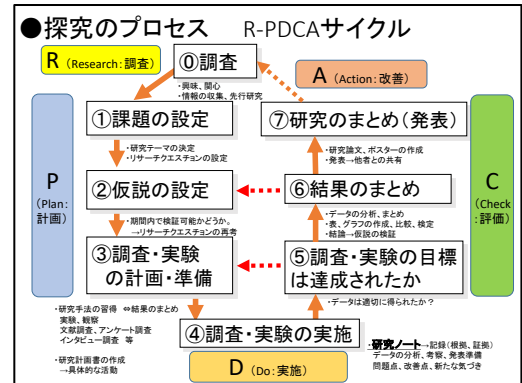
(2) 担当 ※数字は人数

国語2、数学2、理科4、地歴・公民3、英語1、体育2、家庭1、芸術1、

全体担当（総合理学・探究部）地歴・公民1、数学1、理科1 合計20名（17名+3名）

2 目的

- (1) 自ら選択したテーマを探究する活動を通じて、探究の方法、考え方、知識等を身につけるとともに、それらを活用して新たな知見を得る。
- (2) グループ活動を通して、他者との協働性を養い、能動的に行動できるようにする。
- (3) 発表会や報告会などを通して、探究内容や結果について外部へ発信できるプレゼンテーション能力を身につける。
※年間を通じて、探究のプロセス（右図）を経験し、その手法を身につける。



3 全体の流れ…1年間かけて「プロジェクト探究Ⅱ」を実施

1年生での「神高探究Ⅰ」をふまえ、4月にクラスを解体して同じ方向性を持つ仲間グループを作り、5月以降、テーマ設定し、観察、実験、フィールド調査、アンケート調査等を行う。7月にプログレスレポートで研究の方向性を確認し、夏休みをへて11月に中間発表会、2月に最終発表会を実施し、2度のポスター発表を行う。また、3月にはグループごとに論文を提出する。

- ・4月…探究活動のグループ作り、系統とテーマを考える
- ・5月…探究活動のスタート 甲元先生(甲南大学)の講演会
- ・7月14日…プログレスレポート…探究の進捗状況を報告し、疑問点を明らかにする。
- ・(夏休みの活動)
- ・9月…夏休みの活動報告(グループごと)
- ・10月…基礎講座(中間発表とポスターの作り方)
- ・11月10日…中間発表会(72チームが教室と講堂で発表)
- ・冬休みの活動 外部発表
- ・1月…基礎講座(最終発表会に向けと論文の書き方)
- ・2月9日…探究活動発表会[「神高探究Ⅱ」「課題研究」合同発表会]
- ・3月…論文提出

4 系統 72グループで展開

人文科学系	17グループ
社会科学系	12グループ
理・工・農学系	30グループ
医・歯・薬・家政系	13グループ

本校のSSHの支援



甲元先生講演会



プログレスレポート(7月)



中間発表会(11月)

●外部発表

「Research Festa」(令和5年12月17日)(甲南大学主催) … 3グループ参加

「サイエンスフェア in 兵庫」(令和6年1月21日) …3グループ参加

「令和5年度 KOBEAL ネットワーク 探究フォーラム」(令和6年1月25日)(葺合高校主催)
… 2グループ参加

「令和5年度兵庫県立高等学校探究活動研究会」(令和6年2月10日)(県教委主催)
… 2年2グループ、1年1グループ参加